

## ご挨拶

県民の皆様へ

一般社団法人栃木県臨床検査技師会のホームページをご覧いただきありがとうございます。当会は「検査技師」を職業とする法人団体です。主な勤務先は、病院、診療所、検査センター、研究所など多方面で活躍しております。仕事は、臨床検査という血液や尿などの体液を分析する検体検査と、呼吸機能検査や心電図・脳波・超音波検査などの生体検査を行っています。感染症の診断のための微生物学的検査、細胞や組織を診る病理学的検査、近年では、遺伝子検査も実施しています。また、検査のための採血に加えて、本年度より鼻腔等からの検体採取も出来るようになりました。

当会の目的は「臨床衛生検査に関する技術及び知識の向上を図り、検査の適正を確保するとともに併せて県民の健康づくりを推進し、もって県民の保健医療の確保及び向上に寄与すること」にあります。各医療団体と協力しながら、安全・安心・正確な検査が提供できるよう県民の皆様のお役に立てたいと考えます。県民の皆様のご支援、ご協力をお願いします。

会員の皆様へ

この度、平成28年度定期総会におきまして、前会長の任期満了にともなう役員改選により新たに会長就任のご挨拶を申し上げます。

当会は1951年3月21日に「栃木県病理細菌技術研究会」として32名の会員のもと創設され2016年3月で65年を迎えました。この間に12名の方が会長を歴任され私で13代目となります。半世紀以上の歴史のある会の重みを感じながらも未来を見据えて当会の運営を行っていきたいと思います。現在会員数は893名と大きな組織となり女性が多く、会員の年齢層も若返っている傾向にあります。

当会の組織は、総務部、研修事業部、精度管理事業部、組織部、地域保健事業部の5部制となっています。各事業部の横のコミュニケーションを密に取り、きめ細やかに組織運営を図りたいと考えます。そのためには会員一人ひとりからご意見をいただき、魅力・活気のある技師会運営に皆様と取り組んでいく所存です。研究班を中心とした学術活動は、当会の根幹をなすもので初心者から経験豊富な方まで幅広く技術・知識が習得できるよう研修会を企画しています。また、精度管理事業部においては、毎年70施設を超える参加をいただきありがとうございます。この事業も34年継続することができ、施設間の検査のバラツキが年々是正されています。標準化事業も臨床化学・血液部門が2010年から始まり認定施設が7施設となっています。

今後、一層の会員の情報交換を図る事業や三歳児健診時の尿検査等の公益事業への貢献を通じて「臨床検査」の啓蒙活動に努めたいと思います。以上の活動をするためにも会員皆様のご協力をお願いします。

一般社団法人 栃木県臨床検査技師会  
会長 及川 信次